

2023年1月19日  
放射線医学県民健康管理センター

報道関係者 各位

## 2023年 福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム 「ともに考える福島健康・暮らし・未来」を開催します

### 1. 開催趣旨

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター（以下「当センター」）は、県民健康調査に関する最新情報の国内外への発信と、国内外の専門家等との議論を通じて調査から得られた科学的知見の新たな展開を目指すとともに、その成果を県民の健康の維持・増進に役立てることを目的として、国際シンポジウムを開催します。

### 2. プログラム概要

5回目の開催となる今回は、国内外から10名の専門家が参加します。前半では、昨年12月に発刊した日本疫学会誌別冊「福島特集号 - 東日本大震災後の10年」において初めて論文としてまとめられた、個人の外部被ばく線量と、健康診査、ここから調査、妊産婦に関する調査との関連など、この10年間の調査によって得られた科学的知見などを分かりやすく紹介します。後半では、これらの科学的知見の伝え方や、受け手側の情報への接し方など、双方の立場におけるコミュニケーションの在り方について発表・討議します。

オープニングセッションでは、神谷研二・当センター長が「**今年度報告された福島県『県民健康調査』の成果概要**」と題し、県民健康調査の最新情報を中心に発表します。

**セッション1「科学的エビデンスから私たちの健康を考える」**では、キャリー・キタハラ博士（米国国立がん研究所）が、放射線だけでなく、がんの様々なリスク要因などについて疫学的視点から基調講演を行うほか、当センター教員が、福島特集号の内容をはじめ、県民健康調査から得られた最新の知見を発表します。

**セッション2「暮らしと未来につなげるヘルスコミュニケーションを考える」**では、リマ・ラッド博士（ハーバード大学）がヘルスリテラシーについて基調講演を行うほか、佐藤努・楢葉町議会議員や当センター教員が福島でのレジリエンスやヘルスリテラシーを高める取組みなどについて、関谷直也准教授（東京大学）が福島原発事故後の風評被害などの課題について発表します。

なお、今回のシンポジウムは、福島県、環境省などの関係省庁、県内関係団体、海外研究機関などの後援により開催します。当日は内堀雅雄・福島県知事からご挨拶頂く予定です。

### 3. 主催

公立大学法人 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

### 4. 日時・場所

令和5年3月4日（土） 9:00～16:30

福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール（福島市栄町10-6）

### 5. 対象

福島県民、保健・医療従事者、学生、行政関係者をはじめ、どなたでもご参加頂けます。

### 6. 開催方式

会場参加とオンライン（Zoom）参加を併用した「ハイブリッド方式」にて開催します。

全ての発表は、同時通訳により、日本語と英語の2言語で伝えます。

後日、このシンポジウムの講演などはオンデマンド配信します。

新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみに変更する場合があります。



## 7. 定員

会場参加	75 名 (事前申込制、申込多数の場合抽選となります)
オンライン参加	事前申込制

## 8. 申込方法・締切

参加費は無料です。

申込締切： 2月26日(日)

申し込みはこちらから ↓

【センターホームページ URL】

<https://fhms.jp/symposium/2023/>



なお、FAX でも受け付けています。紙のチラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入し、024-581-5457 へ。

## 9. プログラム詳細

### オープニングセッション

司会 ノレット・ケネス (福島県立医科大学 当センター教授、同医学部 輸血・移植免疫学講座 教授)

主催者挨拶 竹之下誠一 (福島県立医科大学 理事長兼学長)

挨拶 内堀雅雄 (福島県知事) (予定)

座長 大戸斉 (福島県立医科大学 総括副学長 当センター総括副センター長/健康調査基本部門長)

講演 神谷研二 (福島県立医科大学 副学長、当センター長、 広島大学 副学長 (復興支援・被ばく医療担当)、同放射線災害医療総合支援センター長)

### 「今年度報告された福島県『県民健康調査』の成果概要」

### セッション1「科学的エビデンスから私たちの健康を考える」

座長 大平哲也 (福島県立医科大学 当センター健康調査支援部門長、同医学部疫学講座 主任教授)、

石川徹夫 (福島県立医科大学 当センター基本調査・線量評価室長、同医学部放射線物理化学講座 主任教授)

基調講演 キャリー・M・キタハラ (米国国立がん研究所 がん疫学・遺伝学研究部門 放射線疫学研究室 主任研究員) (リモート参加)

講演 志村浩己 (福島県立医科大学 当センター甲状腺検査部門長、同医学部臨床検査医学講座 主任教授)

講演 島袋充生 (福島県立医科大学 当センター健康調査基本部門健康診査・健康増進室長、同医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座 主任教授)

講演 前田正治 (福島県立医科大学 当センター健康調査県民支援部門長、同部門こころの健康度・生活習慣調査支援室長、同医学部災害こころの医学講座 主任教授)

講演 安田 俊 (福島県立医科大学 当センター妊産婦調査室副室長、同医学部産科婦人科学講座 講師)

### ディスカッション

### セッション2「暮らしと未来につなげるヘルスコミュニケーションを考える」

- 座長 坪倉正治（福島県立医科大学 当センター健康コミュニケーション室長、同医学部放射線健康管理学講座 主任教授）、  
田巻倫明（福島県立医科大学 当センターリスクコミュニケーション室長、同医学部健康リスクコミュニケーション学講座 主任教授）
- 基調講演 リマ・E・ラッド（ハーバード大学 T・H・チャン公衆衛生大学院 名誉上級講師）（リモート参加）
- 講演 後藤あや（福島県立医科大学 当センター妊産婦調査室副室長、総合科学教育研究センター教授）
- 講演 佐藤 努（楡葉町議会議員）
- 講演 関谷直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授）
- ディスカッション

### 10・当日の会場取材のお申込み

当日、貴媒体のご取材を賜りますよう、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。  
取材のお申込みは事前にセンターホームページから受け付けます。  
申込締切：令和5年2月28日（火）12：00

### 11. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

会場において、ソーシャルディスタンスを考慮したレイアウトと飛沫感染防止などの感染拡大防止対策を実施します。会場参加者（報道関係者を含む）は、ご来場の際、入場時の検温、マスクの着用及び手指消毒の徹底などの感染拡大防止対策にご協力ください。なお、37.5度以上の発熱のある方や体調のすぐれない方の入場はお断りいたします。

#### <お問い合わせ先>

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
健康調査課 広報・国際連携室 担当 三津間、後藤、阿部  
[TEL: \(024\) 581-5454](tel:0245815454) / [FAX: \(024\) 581-5457](tel:0245815457)  
e-mail : [kenkani@fmu.ac.jp](mailto:kenkani@fmu.ac.jp)

以下3枚の写真をご用意しております。画像電子データを御入用の方は、<お問い合わせ先>にご連絡ください。

